

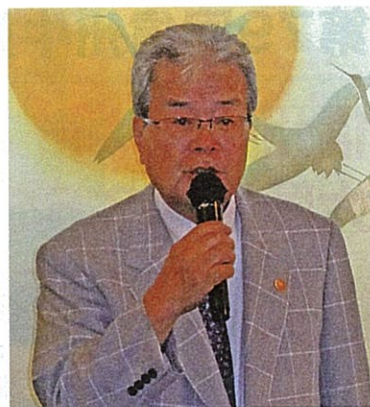


平成30年あか牛和牛認定農場 枝肉販売促進会

特別推奨牛を3,000円で つばめが購買

一般(財)全日本あか毛和牛協会(穴見盛雄理事長)は7月13日、平成30年あか牛和牛認定農場枝肉販売促進会を埼玉県和光市の(株)アグリ・ワン和光ミートセンターで開催した。

同協会では協会登録農家から出荷される牛を粗飼料の給与割合や飼育方法などで4クラス(星の数なし~3つ。星の数が多いほど厳しい基準の飼育方法)に分ける独自の評価基準を制定。肉質については赤身の割合が70%以上、BMSNo.2~4が求められる。



今回の販売促進会では褐毛和種21頭が出品、審査の結果、特別推奨牛には津留孝二さんの出品牛(星1つ、去勢、A3、枝肉重量522.5kg、BMSNo.4、ロース芯面積66cm、バラ厚7.4cm)が輝き、ちぎり方式で行われた販売会で(株)つばめ(左写真)が単価3,000円で購買した。

審査講評では、熊本県農業研究センターの江口敬子研究参事が「全体の平均ロース芯面積は雌で52cm、去勢では55cmで、平均バラ厚は雌7.4cm、去勢7.7cmという結果。星1つのカテゴリーではバランスの取れている枝肉が多かったが、同カテゴリーでは特別推奨牛のほか非常に優れた枝肉もあり、特別賞とした。あか牛は希少価値があり、赤身肉をしっかりと味わえる牛肉。生産者の皆様はこれからも自信を持って育ててほしい」と評した。

生産者表彰式では、穴見理事長(右写真)が「今回の開催についてもミート・コンパニオンおよびアグリ・ワンに大変お世話になった」「あか牛の価格が若干低迷してきているが、増頭に向けた取り組みをしていきたい」とあいさつ。そのほかの受賞牛は次のとおり。

【推奨牛】(株)水上畜産(星なし、去勢、A2、枝肉重量531kg、BMSNo.3、単価2,800円、購買者=(株)エムアイフードスタイル)▷家入正雄(星2つ、雌、A3、456.5kg、BMSNo.4、単価2,800円、(株)成城石井)

【特別賞】川俣孝昭(星1つ、雌、A2、529kg、BMSNo.3、単価2,700円、(株)セントラルフーズ)